

# 第 38 回インターウニ・ゼミナール (ドイツ語ドイツ文化ゼミナール)

## 38. interuniversitäres Juniorenseminar für deutsche und japanische Kultur

### 参加者募集のお知らせ



日時：2019年3月7日(木)～11日(月)

場所：国際医療福祉大学 那須セミナーハウス  
 (栃木県那須塩原市金沢)

参加費：32,000円 (4泊5日宿泊・食事代ほか。ただし交通費は含みません。東京都内池袋駅からチャーターバスを用意します。)

募集人数：60名程度 (ドイツ語を学ぶ全国の学生・院生、ドイツ語学習歴のある社会人)

講師(予定)：相澤啓一(筑波大)、Ralf Degen(慶応大)、David Fujisawa(獨協大)、Christian Horn(韓国外語大)、井口祐介(茨城高専)、鎌倉澄(学習院大)、Nina Kanematsu(首都大)、Kim Namhui(慶北大学校)、村元麻衣(名古屋大)、小野二葉(筑波大)、Matthias Pfeifer(静岡県立大)ほか

申込み締め切り：2019年2月28日(木) (なお、それ以前でも応募者が定員を満たした段階でキャンセル待ちとなりますが、締め切り後でも空きがあれば受け付けますので、お問い合わせ下さい。最新情報はHPから確認してください。)

参加申込みは次のサイトから：  
<http://www.interuni.jp/anmeldung>

主催：インターウニ・ゼミナール実行委員会

ホームページ：<http://www.interuni.jp/> お問い合わせ：<http://www.interuni.jp/kontakt>

共催：筑波大学 (TEACH = 日独韓共同修士学位プログラム <http://trans.hass.tsukuba.ac.jp/teach/ja/>)

協力：Goethe-Institut Tokyo(ドイツ文化センター)、Deutscher Akademischer Austauschdienst(ドイツ学術交流会)

	3月7日 (Do) ⇨	3月8日 (Fr) ⇨	3月9日 (Sa) ⇨	3月10日 (So) ⇨	3月11日 (Mo) ⇨
8:00⇨		Frühstück 朝食⇨			
9:00⇨		授業2⇨ Gruppenunterricht⇨	授業4⇨ Gruppenunterricht⇨	Studentischer Tag (Gruppenarbeit) ⇨	Gruppenpräsentation⇨ 各グループのプレゼン⇨ Evaluation⇨
12:00⇨	Abfahrt von Tokio⇨ mit Interuni-Bus⇨ 10:00 池袋出発⇨ ↓⇨ Anreise 到着⇨	Mittagessen + Pause 昼食⇨			12.30 Abreise ⇨
13:00⇨		13.00-14.00 Spiele⇨	Freier Nachmittag⇨ (13.00-15.00) ⇨	13.00-16.00⇨ Studentischer Tag⇨ (Gruppenarbeit) ⇨ プレゼン完成! ⇨	Rückfahrt 現地出発⇨ Ankunft in Ikebukuro⇨ 16:30 頃 池袋着⇨ (予定) ⇨
14:00⇨	Einführung 導入⇨ Gruppeneinteilung⇨ グループ分け⇨	14.15-17.15 授業3⇨ Gruppenunterricht⇨ Brainstorming⇨	15.00-18.00 授業5⇨ Gruppenunterricht⇨	16.00-18.00⇨ Nachmittagsprogramm⇨ 午後の自由プログラム⇨	
18:00⇨	Abendessen 夕食⇨			パーティ準備⇨	
19:00⇨	19.00-21.00 授業1⇨ Gruppenunterricht⇨	Koreanischer Abend⇨ mit anschließender Diskussion⇨ 韓国の夕飯⇨	19.00-20.30⇨ Abendprogramm⇨ 夜の自由プログラム⇨ Gruppenbildung zur Präsentation⇨	Schlussfeier ⇨ パーティ⇨	Änderungen ⇨ Vorbehalten!⇨
21:00	Kneipe / Nachtruhe / 就寝 ?! ⇨				

今回のテーマ：

## 私たちの社会は持続可能か？ Wie nachhaltig ist unsere Gesellschaft?

母語以外の言語でコミュニケーションができるようになると、今まで全く知らなかった人や社会と直接話せるようになって、世界がぐんと広がる喜びを知ることになります。ドイツ語を学び始めた皆さんには、そういう体験が待っています。

ただインターウニでは、そのとき「どんなテーマについて話をするのか」という問いも、とても大切に考えています。買い物や旅行に使える日常会話もちろん大事ですが、それだけだったら最近進歩がめざましい自動翻訳でも十分です。みなさんにはぜひそれだけではなく、ドイツ語を学んで、わくわくするような知的な対話や人との出会いの楽しさをぜひ体験してもらえればと思います。そういう目的をかけるインターウニへの参加資格は「1年ドイツ語を学んでいること」、まずはそれで十分です。ドイツ語力に応じてクラス分けをしますので、その中でそれぞれの実力に見合う形で、でも少し背伸びしながら、ドイツ語を学んでいくことにしましょう。今年 は *nachhaltig*、つまり「持続可能な（英語で *sustainable*）」という形容詞をめぐる、身近な問題から一緒に考え、情報や意見を持ち寄って、議論してみることとします。

私たちが生きている社会は、果たしてどこまで「持続可能」なのでしょう？ *Nachhaltigkeit* という言葉は、おそらく 1992 年の「国連環境開発会議」、すなわちリオデジャネイロの地球サミット（UNCED）あたりから、よく使われるようになりました。2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」でも、2016 年から 2030 年までの国際目標として「持続可能な開発目標（SDGs）」が掲げられていて、環境や経済、政治、文化など、さまざまな領域での持続可能性が問われています。

もっとも、私たちの身の周りを見回しても、たとえば少子高齢化の確実な進行とか、移民をめぐる世界的な対立の深刻化、あるいは AI ロボットの制御不能な進化のスピードとか、5G をめぐる米中対立の激化など、私たちの住む社会が今のままの形で今後何十年も「持続」していきそうにはあまり見えません。持続可能でないとするのなら、どちらの方向に何がどう向かって変わるのでしょう？ 持続可能な社会をつくるためには変化が必要、というわけで、破局（*Katastrophe*）に至らないためには何をしなくてはならないかを考えながら、今度のインターウニでは「持続可能性」をテーマに、習い始めたドイツ語を使ってできる限りたくさん話をしてみましょう。ドイツや韓国や日本の他大学から来た多様な参加者たちと、ともにいろいろ考え、ドイツ語でたくさん議論のやりとりをしてみたいと思います。

2018 年 12 月

- ◎ ホームページから申し込みをすると、登録アドレス宛に実行委員会から受付確認メールが送られますので、それに従って参加費とバス代の合計金額を、所定の口座に振り込むよう指示があります（詳細は受付確認メールでお知らせします）。
- ◎ 開催場所は交通の便が悪く、自家用車の利用は原則として禁止していますので、東京都内から研修所まで貸切バスを往復でチャーターします。3 月 7 日の往路は午前 10 時に東京の JR 池袋駅発、11 日の帰路は夕方 4 時半頃に池袋駅着の予定です（到着時間は交通事情次第で前後する可能性があります）。バス料金は片道 2500 円、往復で 5000 円です。バスは、10 年以上お願いしてきている東京シティ観光（株）に依頼しています。なお JR 東北新幹線/東北本線を利用する方は、西那須野駅からセミナーハウスまで市内バスの便があり、予約可能です。
- ◎ 授業はドイツ語の語学力別に編成する 10 名程度の小グループで行うほか、講演や自由参加プログラムもあります。
- ◎ 申し込み後のキャンセルや部分参加申請は 3 月 3 日まで受け付けます。それ以降は実費分を差し引いた返金額となります。（詳しいことは申込みに際してお知らせします。）
- ◎ 以前のゼミナールの様子やテーマ等については、インターウニのホームページ <http://www.interuni.jp/> に詳しく掲載してありますので、ぜひご覧ください。
- ◎ ゼミに関するお問い合わせや、Web 上での申し込みに問題が生じた場合などは、実行委員会までお問い合わせください。 <http://www.interuni.jp/kontakt>